



2021年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月3日

上場会社名 泉州電業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9824 URL <https://www.senden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 元秀
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 成田 和人 TEL 06-6384-1101
 四半期報告書提出予定日 2021年6月10日 配当支払開始予定日 2021年7月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年10月期第2四半期の連結業績 (2020年11月1日～2021年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	42,973	11.9	1,905	5.6	2,090	9.3	1,442	9.2
2020年10月期第2四半期	38,399	△9.4	1,804	△16.1	1,911	△15.5	1,320	△13.1

(注) 包括利益 2021年10月期第2四半期 1,712百万円 (39.3%) 2020年10月期第2四半期 1,229百万円 (△21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	154.94	—
2020年10月期第2四半期	137.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第2四半期	76,437	41,339	53.9
2020年10月期	67,401	40,409	59.8

(参考) 自己資本 2021年10月期第2四半期 41,190百万円 2020年10月期 40,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2021年10月期	—	40.00	—	—	—
2021年10月期 (予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の連結業績予想（2020年11月1日～2021年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,900	17.0	3,850	23.2	4,200	24.2	2,900	23.3	318.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は2020年12月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式146,000株の取得を行いました。また、2021年6月3日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、これらの取得及び取得予定等の自己株式数の増減を考慮し、算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年10月期2Q	10,800,000株	2020年10月期	10,800,000株
② 期末自己株式数	2021年10月期2Q	1,558,120株	2020年10月期	1,425,068株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年10月期2Q	9,311,639株	2020年10月期2Q	9,580,301株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(重要な後発事象)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の再発令に伴う影響や、収束の見通しが立たないことによる国内外経済のさらなる下振れリスクなどもあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの係わる電線業界におきましては、電線の主材料である銅の価格が、1トン当たり期中平均913千円と前年同期平均658千円に比べ38.8%上昇いたしました(銅価格の推移、1トン当たり期初750千円、安値750千円(2020年11月)、高値1,080千円(2021年4月)、第2四半期末1,080千円)。また、建設・電販向けの出荷量は、前年同期に比べ減少基調で推移いたしました。

このような情勢のもとで当社グループは、提案型営業の推進、配送体制の強化、新規得意先の開拓及び既存得意先の深耕、新商品の拡販など積極的な営業展開を図りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、半導体製造装置向け需要及び自動車・工作機械向け需要の回復と、銅価格の上昇に伴う建設・電販向け需要の売上増加により、売上高は42,973百万円(前年同期比11.9%増)、営業利益は1,905百万円(前年同期比5.6%増)、経常利益は2,090百万円(前年同期比9.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,442百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

なお、当社グループは、電線・ケーブル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、資産合計は76,437百万円で前連結会計年度末に比べて9,035百万円の増加となりました。

流動資産は52,815百万円で現預金及び売上債権が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて9,151百万円の増加となり、固定資産は23,621百万円で前連結会計年度末に比べて115百万円の減少となりました。

負債につきましては、負債合計は35,097百万円で前連結会計年度末に比べて8,105百万円の増加となりました。流動負債は32,444百万円で仕入債務が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて8,181百万円の増加となり、固定負債は2,653百万円で前連結会計年度末に比べて75百万円の減少となりました。

純資産につきましては、純資産合計は41,339百万円で前連結会計年度末に比べて929百万円の増加となりました。増加の主な要因は、自己株式の取得による減少があったものの、利益の内部留保により利益剰余金が増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月31日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通り連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,461	23,778
受取手形及び売掛金	16,273	18,661
電子記録債権	4,882	5,554
有価証券	7	6
商品	3,847	4,534
その他	205	296
貸倒引当金	△13	△15
流動資産合計	43,664	52,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,560	6,411
機械装置及び運搬具(純額)	416	381
土地	10,605	10,562
リース資産(純額)	112	96
その他(純額)	79	115
有形固定資産合計	17,774	17,568
無形固定資産		
投資その他の資産	120	105
投資有価証券	1,308	1,568
長期貸付金	33	26
繰延税金資産	807	712
その他(純額)	4,067	4,010
貸倒引当金	△375	△370
投資その他の資産合計	5,842	5,948
固定資産合計	23,737	23,621
資産合計	67,401	76,437

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,858	30,206
短期借入金	105	105
リース債務	36	26
未払法人税等	462	627
賞与引当金	588	591
その他	1,211	888
流動負債合計	24,262	32,444
固定負債		
リース債務	37	27
繰延税金負債	3	5
退職給付に係る負債	2,103	2,162
資産除去債務	6	6
その他	578	451
固定負債合計	2,728	2,653
負債合計	26,991	35,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,575	2,575
資本剰余金	3,397	3,412
利益剰余金	37,146	38,261
自己株式	△3,231	△3,701
株主資本合計	39,887	40,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408	582
為替換算調整勘定	25	91
退職給付に係る調整累計額	△48	△31
その他の包括利益累計額合計	384	642
非支配株主持分	137	149
純資産合計	40,409	41,339
負債純資産合計	67,401	76,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
売上高	38,399	42,973
売上原価	32,010	36,514
売上総利益	6,388	6,458
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	625	643
貸倒引当金繰入額	△5	0
給料及び賞与	1,418	1,416
福利厚生費	415	425
賞与引当金繰入額	573	582
退職給付費用	149	150
旅費交通費及び通信費	138	109
減価償却費	265	258
のれん償却額	2	—
その他	999	967
販売費及び一般管理費合計	4,584	4,553
営業利益	1,804	1,905
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	14	16
受取家賃	60	60
仕入割引	24	13
為替差益	2	2
その他	54	132
営業外収益合計	160	228
営業外費用		
支払利息	1	0
減価償却費	26	26
支払保証料	3	4
その他	22	11
営業外費用合計	52	43
経常利益	1,911	2,090
特別利益		
為替換算調整勘定取崩益	47	—
特別利益合計	47	—
特別損失		
投資有価証券評価損	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	1,951	2,090
法人税、住民税及び事業税	516	595
法人税等調整額	107	46
法人税等合計	623	641
四半期純利益	1,327	1,448
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,320	1,442

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	1,327	1,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	174
為替換算調整勘定	△45	72
退職給付に係る調整額	15	16
その他の包括利益合計	△97	263
四半期包括利益	1,229	1,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,223	1,700
非支配株主に係る四半期包括利益	5	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式146,000株の取得を行い、当第2四半期連結累計期間において自己株式が499百万円増加しました。また、2021年2月26日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式13,100株の処分を行い、当第2四半期連結累計期間において自己株式が30百万円減少し、資本剰余金が15百万円増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,412百万円、自己株式が3,701百万円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2021年6月3日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実と資本効率の向上及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類

当社普通株式

(2) 取得し得る株式の総数

150,000株(上限)

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.62%)

(3) 株式の取得価額の総額

500百万円(上限)

(4) 取得期間

2021年6月4日から2021年10月31日まで

(5) 取得の方法

東京証券取引所における市場買付